

## 精神障害者の生活支援システム

問題 73 「障害者総合支援法」に基づく宿泊型自立訓練に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 標準利用期間は原則1年である。
- 2 市町村地域生活支援事業の任意事業に位置づけられている。
- 3 介護給付費が支給される事業である。
- 4 介護サービス包括型や外部サービス型などの種別がある。
- 5 所得に応じた利用者負担上限月額が設けられている。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 74 次の記述のうち、「障害者雇用促進法」に基づく職場適応援助者(ジョブコーチ)に関する説明として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 職業リハビリテーションに関して研究する。
- 2 円滑な就職と職場適応ができるよう、障害者と事業所の双方を支援する。
- 3 就業面の支援に併せて、体調や生活のリズムの管理に関する支援を行う。
- 4 対象となる障害者が、正式に就職してから支援を開始する。
- 5 障害者雇用率未達成の事業主に対して指導する。

(注) 「障害者雇用促進法」とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」のことである。

問題 75 次の記述のうち、厚生労働省が発表した障害者の雇用の状況等について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「平成30年度障害者の職業紹介状況等」によれば、2018年度(平成30年度)のハローワークを通じた障害者の就職率は20%未満である。
- 2 「平成30年度障害者の職業紹介状況等」によれば、2018年度(平成30年度)の障害者雇用の就職件数において精神障害者の割合は30%未満である。
- 3 「令和元年障害者雇用状況の集計結果」によれば、民間企業における実雇用率は企業の規模が大きいほど高い。
- 4 「令和元年障害者雇用状況の集計結果」によれば、民間企業において雇用されている精神障害者の数は、ここ5年間で横ばいである。
- 5 「令和元年障害者雇用状況の集計結果」によれば、民間企業において雇用されている障害者の数では、精神障害者が知的障害者よりも多い。

問題 76 次のうち、精神障害者の場合、精神障害者保健福祉手帳の所持が前提となるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 就労移行支援事業所の利用
- 2 「障害者雇用促進法」に基づく障害者雇用率の算定
- 3 救護施設への入所
- 4 住宅入居等支援事業の利用
- 5 自立準備ホームへの入所

問題 77 次の記述のうち、「障害者総合支援法」における基幹相談支援センターの説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者への医学的、心理学的及び職能的判定業務を行う。
- 2 自立支援給付に位置づけられる。
- 3 職業準備講習を行う。
- 4 発達障害者は支援の対象外である。
- 5 地域の相談支援体制の強化に取り組む。

## (精神障害者の生活支援システム・事例問題)

次の事例を読んで、問題 78 から問題 80 までについて答えなさい。

[事例]

Dさん(70歳, 女性)は, 統合失調症で精神科病院に長期入院をしていたが, 10年前に退院に向けた支援を受けながら地域に戻った。その後, 定期的な通院を続け, 「障害者総合支援法」に基づくY機関に通所しながらアパートで一人暮らしを続けている。Dさんには妹がおり, アパートの近くに住んでいて関係は良好である。Dさんは週3回通所しているY機関で, 公園の清掃活動とお菓子の箱折等の作業を行い, 月1万円程度の工賃を得ている。DさんはY機関と雇用契約を結んでいない。(問題 78)

Dさんは, Y機関での工賃と障害年金を受給しながら生計を立てている。Dさんは安定した地域生活を送っていたが, 最近になって日常の複雑な動作が難しくなり, 運動能力の低下も顕著になってきた。Dさん自身もそのことを自覚し, Y機関のE職員(精神保健福祉士)に, 健康面での不安を抱えていること, 日常生活においても調理や家事も少しずつ大変になってきていることの相談をした。そこでE職員はZ相談支援事業所のF職員(精神保健福祉士)に担当者会議の開催を依頼した。Y機関ではDさんの作業内容の見直しを検討した。その結果, 公園の清掃活動を中止し軽作業のみ行うこととなり, 通所回数を週2回にすることにした。E職員は「障害者総合支援法」に基づき個別支援計画の変更を行った。(問題 79)

F職員はDさんと面接を行い, Dさんの生活状況を確認した。元々Dさんは整理整頓ができていたが最近では体が思うように動かず, ごみ出しができなくなっていたことや, 一人で調理をすることが難しくなっていたことが分かった。また, 日常生活のサポートは妹に頼っていたことも分かった。F職員が介護保険サービスの利用を提案したところ, Dさんも妹も利用に前向きな回答をした。そこで, F職員はDさんの介護保険サービスの利用に向けて調整を行った。その後, Dさんは介護保険サービスの利用申請を行い, 認定調査の結果, 要介護1の判定が出た。(問題 80)

問題 78 次のうち、Dさんが現在利用しているY機関として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 就労継続支援B型事業所
- 2 就労継続支援A型事業所
- 3 就労移行支援事業所
- 4 地域障害者職業センター
- 5 障害者就業・生活支援センター

問題 79 次の記述のうち、E職員が行った個別支援計画の変更に関する説明として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 変更後、12か月に1回モニタリングをしなければならない。
- 2 変更にはDさんの妹の同意が必須である。
- 3 変更にあたっては、障害者職業カウンセラーが最終的な責任を持つ。
- 4 変更後の個別支援計画を、Dさんに交付しなければならない。
- 5 変更にあたっては、E職員はDさんと面接を行う。

問題 80 次のうち、F職員がDさんに提案した介護保険サービスとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 重度訪問介護
- 2 訪問介護
- 3 訪問入浴介護
- 4 居宅介護
- 5 療養介護